

※予定建築物の用途：一戸建ての住宅

※雨水樹には泥だめ15cm以上。

※管が交差する場合はクリアランスを10cm以上確保すること。

※土被り0.60m未満且つ車輛通行箇所については重圧管又はコンクリート全巻管。

※本管上での取付管間隔は1m以上とする。

※取付管については本管に支管接続とし勾配は1.0%以上とする。

※排水管の放流口については、水路の通常水位より上に設置すること。

※家庭用汚水は合併浄化槽を経由し宅内枳を経て放流する。

※マンホールでの管接続の削孔同士の間隔（残り代）は内面側で10cm以上確保すること。

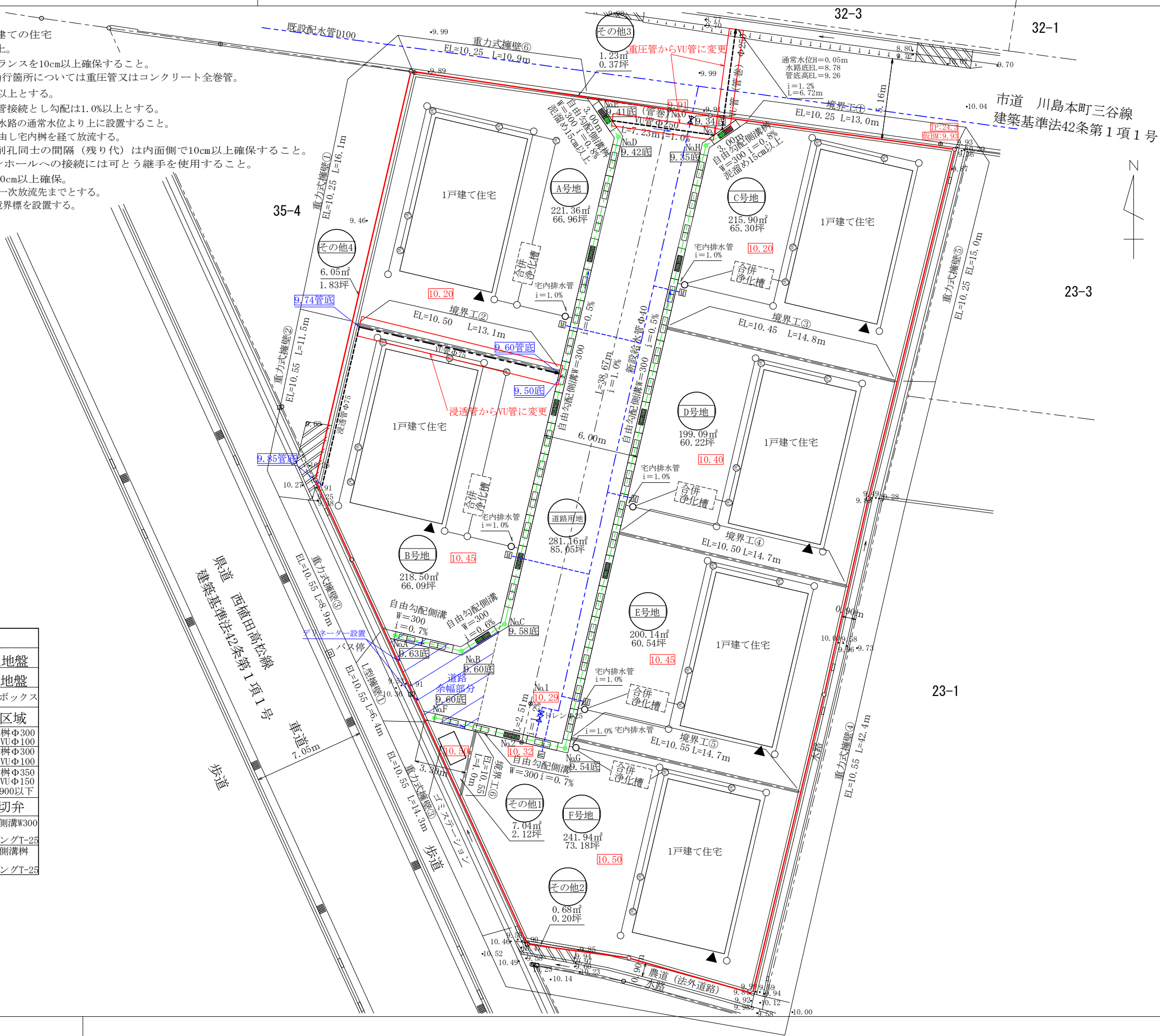
※管がVU・PRPの場合、マンホールへの接続には可とう継手を使用すること。

※宅内の排水管の土被り：20cm以上確保。

※開発協議の対象は最終枳から一次放流先までとする。

※その他4の区画については、境界標を設置する。

凡 例	
00.00	現況地盤
00.00	計画地盤
---■	メーターボックス
□	開発区域
○	汚水枳φ300 接続管VUφ100
○	雨水枳φ300 接続管VUφ100
○	最終雨水枳φ350 接続管VUφ150 高さH=900以下
×	仕切弁
■	自由勾配側溝W300 W=300 グレーチングT-25
■	自由勾配側溝枳 W=300 グレーチングT-25



開発許可
年 月 日

第 令和 年 月 日 号

申請者

株式会社 アルファード
代表取締役 七條政利

作成者
住所・氏名

高松市三谷町一八九一番地四
土地家屋調査士
多田 努 (印)